

雑誌週間に際して

現代の文明は一面に於て新聞雑誌の文明であります。殊に雑誌は其の種類甚だ多く、凡ゆる階級凡ゆる職業分野に亘つて讀まれるものでありますから、これが世道人心に及ぼす影響も想像以上に甚大であります。吾々雑誌發行業者は常に此の點に細心の注意を拂ひ、自己の立場に對する自覺と、その使命の達成に誤りなからんことを期してゐるものであります。

日本雑誌協會は、現在日本に於ける主要雑誌發行者五百餘社によつて結成されてゐる團體であります。而して協會員の發行に係る雑誌に限り、全國一萬二千の販賣店を通じて讀者に配給される組織になつて居ります。即ち日本雑誌協會と各地販賣店とは、如上の關係に於て雑誌を發行し販賣するものでありまして、毎月毎號必ず、定期刊行、配本一齊、定價販賣の三大鐵則により、整然たる統制のもとに行動してゐるのであります。

本協會に於ては、來る九月七日より二十日迄を『雑誌週間』として全國的に雑誌普及の運動を起します。すでに御愛讀下さつてゐる方には此の際一層深い認識と理解を求め、いまだ雑誌を手にしられざる方には新しき注意と關心を求める企てであります。全國各地の有力新聞社より全面的贊助を受け、各地販賣店は舉つて之に参加協同するわけであり、週間の行事の一つとして特に申上げたいことは、『雑誌總目錄』の發行であります。右目錄は週間中凡ゆる書店に備付けて、雑誌撰擇上の御參考に供することになつて居ります。

本協會加盟の各雑誌發行業者は、此の機會に於て讀者各位に深甚の敬意と謝意を表し、併せて御愛讀雑誌への再批判再検討と、そして更に倍舊の御愛顧を切望いたす次第であります。

昭和九年九月

東京神田一ツ橋・教育會館内

日本雑誌協會

東京市麴町區丸ノ内三ノ六

工事畫報社